

いなづま

題字 小寺寛一

発行所 函館地方電気工事協同組合

編集総務部

住所 函館市新川町31番11号

印刷所 有限会社 豊國堂印刷



謹
賀
新
年

新年のご挨拶

北海道電力株式会社函館支店

支店長 村岸嘉幸



皆様には、お元気でお正月をお迎えのことと心からお祝い申しあげます。昨年は、電気料金制度の改定という大きな仕事がありましたが、その実現の過程に、皆様の絶大なご協力とご支援があったことを想い起し、あらためて深く感謝申しあげる次第でございます。

「一年の計は元旦にあり」という言葉は、毎年、元旦を迎えるたびに思い浮べる先人の教訓ですが、近年の激しい世相の動きの中では、先の見通しがさだかでないので、一年の計画をたてるのは、なかなか難しい情勢にあると思います。

三木新内閣の低成長型の安定経済行政が、私どもの周囲に、どのような形で、影響するのか、また、統一選挙の結果が、どのような方向に落ちつくのか、賃金相場や物価がどうなるのかなど、気にかかる種はつきませんが、たとえ低成長経済の中であっても「この一年、健康で明るく過したい」との願いは、誰しも同じと 思います。

皆様には、「安全第一」を自から実践されいつまでも災害のない日々を送られますよう念じてやみません。それとともに、電気施設からは、昨年の北ガス事故のような事態は、絶対に起こさないとの決意と誇りをもって工事に当られるものと確信しております。当社としても、電気安全と業界の健全な発展のため、皆様と共に力を合わせて行く所存ですので、どうぞよろしくお願い申しあげます。

新年にあたつて



理事長 大倉伸夫

皆様には御家族従業員の皆様共々御健勝の裡に新年を迎えられ、おめでとうございます。

此の二、三年毎年大変だ

大変だ、と云い乍ら新し

い年を迎えてる訳ですが、今度こそ本当に大変な正月を迎えた様でございます。

私電設業界は昨年以上に総需要抑制のあおりを、まともにかぶっている状況ですので、関係する皆様方に一層の団結と御奮励の程を御願い申し上げる次第でございます。

又此の様な不況の折に組合会館建設の御願い等、誠に恐縮に存じておる次第ですが、此の件に就きましては、既に一昨年昨年と総会に於いての決議を経ている事でもあり、建設委員会に於いて土地の取得に努めて参ったのであります。三十万都市となつての函館市内の交通規制が実施されたとはいゝ、二百十数社の大世帯の組合事務所としては、既に数年前より狹隘のための事業の遂行に支障を来して居りました。

幸にして十一月、日之出町の一角に土地建物を確保致しました。此のいなづまが皆様の御手許に届く頃には内部改装も着工されている事と思います。取扱致しました土地建物は内部の一部改装に依り当分其の便利用出来ますし、駐車場のスペースも充分にとれ、且北電函館支店にも近く、条件としては最適地であると考えて居る次第です。

勿論相当の予算を費す組合としては大きな仕事であり、会館の建設とともに今後行なわなければならない組合事業の改善はそれ以上に大事な事であります。組合会館に移転後に於いては日常業務は勿論便利になりますが、新に計器関係諸業務並引込材料の取扱いの他、北電営業所とも協議の上組合員の業務の合理化

に積極的に取組むと共に電気サービスセンターの充実強化等々行なわなければならない仕事は枚挙に余りあるのがあります。

又函館市内のみならず江差、福島、八雲地区に対するサービス態勢も考えて行かねばなりません。一昨年支部制を発足させて以来、組合員諸氏の理解協力により、除々に組合活動の成果を上げつゝあるものと確信致しますが、新事務所の取得を期に更に一層の組合の目的である相互扶助・共存共榮の実が上げられます様お願い致します次第であります。

冒頭申述べた通り、今年は昨年にも増して厳しい年である事は疑う余地はありません。

此の様な年であるからこそ、適正価格及工量制の徹底並金融保険業務の充実等直面した非常事態を乗り切るための緊急なる方策を樹てなければなりません。此の難局を我々同業の皆様個々が姿勢を正し今年一年事故を起す事なく乗切れます様心から祈念し新年の御挨拶と致します。

四、一緒に処理致したいとのことである。
四、技術営業拡大講習会について
九月二十五日札幌市で開催されるので、各支部より一名以上出席するよう要請あり(当日一〇名参加)

五、事業内職業訓練連絡協議会の開催について
一〇月四日、全道電気工事組合の協議会が函館で開催されるので協力を願います。

六、電気安全表彰の選考について

昨年推せんして表彰よりもれた人、及び今年新たに該当すると思はれる人を推せんする。

七、移動役員会の報告

八月九日、利尻島で開催された移動役員会の會議内容について、理事長より説明があった。

八、その他

(一) 経営改善資金の利用について

(二) 各種保険について

(三) 税務講習会について

(四) 北電サービス旬間にについて

(五) 北電引込工事・計器工事業者の認定について

(六) 組合の定款変更について

以上についてそれぞれ説明があつた。

役員会だより

第五回役員会

四九、九、六

一、慶弔報告

元北部電気工事業協組理事長大塚氏 死亡
道北電気協組二五周年記念

事務局近藤美紀さん結婚

二、貸付報告

八社 三〇〇万円

三、出資金の増額について

現在一組合員当り一〇万円の出資金を出して貰

つて居るが、組合会館の建設および諸事業を活

分化するため、五年間を限度に一組合員五〇万円に増資したい旨理事長より説明があつた。

尚、現在未払出資金のある組合員については、

(二) 引込工事資材の業者持ちについて

(四)臨時工事の取扱いについて
以上提案することに決定

四、全国家庭用電気設備安全運動について、当組合の実施事項について、種々討議の結果各支部単位に移動無料相談所を開設することに決定・具體的方法について打合せを行なった。

五、技能競技大会の予選について
参加人員が少なかったので、予選を一三日に延期するので、一支部より必ず二名以上参加すること。

六、求人について
早急に説明会を開催する。

七、交通安全協会の入会について
支部会議で加入促進し、早急に取り纏めて欲しい。

八、商工中金の増資について
討議の結果一、〇〇〇口、一〇万円増資することに決定した。

九、一〇、二八

第七回役員会
一、慶弔報告
中沢電気(株)社長病氣入院

二社

四〇万円

三、組合会館建設について
適当な物件があつたので、建設委員会を開き討議、建物の見分をした結果、適当と認めたので役員会に諮り決定したい旨、理事長より説明があり、種々質疑討議の結果購入することに決定した。

四、旅費規程の改訂について
現行規程を定めてから大分年月を経過して現状に適さないと云うことで、検討の結果一部修正した。

五、全国家庭用電気設備安全運動について
実施結果について理事長より報告があった。

六、技能競技大会北海道大会について
北海道大会に於ける当組合選手の結果報告があつた。
七、その他
詳細については別掲のとおり

イ、訓練担当より配電盤の注文について要請
あり

八、臨時工事に使用する金具について説明あり

第八回役員会
一、慶弔報告
四九、一二、一二

二、貸付報告
九社 二九〇万円
宮本電気社長病氣入院

三、組合会館建設について
①旧道食の建物を三、七五〇万円で購入十一月二十一日売買契約を締結した、物件は、宅地七九九、二七平方米、工場兼居宅一階六・九、七四平方米、二階二七八、二四平方米で改修について建設委員会で討議の結果、設計監理もあわせて匠設計事務所に依頼した。

四、住友生命配当金について
一口一ヶ月につき五〇円を加入者に還元する。
五、大同生命の保険について
保険会社より、給付率が高いので高年令者の保険料だけでも上げて欲しいとの申入れについて討議の結果却下するよう決定

六、会計中間監査について
監事平井氏より監査の結果適正である旨報告あり、尚、会費、売掛金の未納等ありと指摘された。

七、いなづま発刊について

編集長より原稿が遅れたので、新年号と併せ発刊する旨説明あり、又、各位からの寄稿をお願いします。
八、新年宴会の開催について
開催日・方法等総務委員会に一任する事で決定
九、技能五輪大会について
五〇年二月に開催予定で、当組合から二名参加
十、互助会について
互助会について意見を求められたので、その処理の範囲拡大、金額の増額等について考慮し、欲しい旨申入れました。

理事長 猪股貫伸
副理事長 大倉伸
伊東幾郎
池田唯吉
岩越義雄
細川政明
高橋英要
竹田幹勝
成田一房
佐々木智作
森谷勇子
平沼英子
田中要子
花田照子
平井行衛

監事
花田照子
平井行衛
森谷勇子
平沼英子
田中要子
佐々木智作
成田一房
竹田幹勝
高橋英要
細川政明
岩越義雄
池田唯吉
伊東幾郎
猪股貫伸
大倉伸
大倉伸
伊東幾郎
池田唯吉
岩越義雄
細川政明
高橋英要
竹田幹勝
成田一房
佐々木智作
森谷勇子
平沼英子
田中要子
花田照子
平井行衛

組合行事

8月10日	福島支部定例会議
13日	北電副社長来函 建設委員会々議
19日	渡島地方技能訓練協会理事会
20日	中波島支部定例会議
24日	建設委員会々議
26日	いなづま編集会議
27日	全　右
29日	全　東支部定例会議 訓練校指導員会議
9月6日	第五回役員会
9日	北電新供給規程説明会　於北電41会議室
10日	北支部定例会議
11日	福島支部定例会議 訓練校主任会議
12日	札幌連合会役員会 西支部定例会議
13日	中支部定例会議
19日	全国家庭用電気設備安全運動実施要領打合 せ会議　於北電
20日	中波島支部定例会議
24日	江差支部定例会議
25日	北電函館支店安全衛生大会
26日	足場の組立、解体変更作業の取扱主任者 特別講習会
27日	技術営業拡大講習会　於札幌
28日	訓練校主任指導員会議
29日	全　第六回役員会
10月1日	第四二回三水会々議　於北電41会議室
2日	電波障害防止協議会役員会　於NHK

11月1日	全道技能競技大会　於室蘭
2日	八雲支部定例会議
23日	第二三回北工連絡会々議　於北電
24日	建設委員会々議
25日	全道職業訓練校代表者・事務長会議
26日	中波島支部定例会議
27日	いなづま編集会議
28日	全国家庭用電気設備安全運動反省会
29日	東支部定例会議
12月1日	北支部定例会議
2日	中支部定例会議（懇談会）
3日	中小企業団体中央会地域懇談会　於商工会議所
12月2日	中渡島支部定例会議
13日	支部長懇談会
14日	連合会役員会
15日	訓練校主任指導員会議
16日	事務長会議　於洞爺
17日	建設委員会々議
18日	いなづま編集会議
19日	玉掛作業主任者特別講習会
20日	（新）
21日	（旧）

【組合員の異動変更事項】

一、九月十二日 中沢電気工業株社長 中沢一郎氏
交通事故病院入院
（十一月三日退院）
一、九月十二日 (同)平電装社長 梁川鉄男氏
病院入院（十月末退院）

一、吉浦電機商会
西村 博氏 殉職

【組合員の異動変更事項】

（住所変更）
（旧）

函館市花園町一一番二七号　函館市柏木町二一番

全国家庭用電気設備安全運動

の実施について

去る十月全国家庭用電気設備安全運動の一環として次の通り運動が実施された。

実施期間、十月

一日～十日 準備期間

十月十一日～二十日 實施期間

十月二十一日～三十一日 整理期間

協賛

北海道電力株式会社函館支店

II

北海道電気保安協会函館支店

実施事項

・ボスターの配布 II 組合員、電力会社出先機関、

その他関係筋に配布

・チラシの配布 II

全電工連作製のもの

函館地方電気サービスセンターPR用のもの

一〇、〇〇枚

三、〇〇枚

電力会社提供のもの

二、〇〇〇枚

・ 移動相談所の開設、相談件数

三二件

十月十五日、五稜郭ホリタストアの前

十六日、花園町ミニサイカの前

十八日、赤川通カネシンストアの前

・宣伝



業界並に組合のイメージアップに大いに効果があったと思はれます。

ご協力下さった関係各位には厚く「礼申しあげます」と云う人が案外多いのではないかと思う。少し意味が異なるが我が組合の事業の討議事項に関して、右か左か、はっきりと意見を述べない人があまりに多いのではないかと日頃痛感している。

又、本道の場合十月は既に寒い季節になるので、九月の電力会社のサービス専門に併せ行うとか、或はデパートなど屋内での相談所を設ける方法が考えられるが、次回は組合員各位のより一層積極的なご協力をお願いしたいと思います。

『君は黒色にするか、白色がよいか』と問われたらおそらく『どちらでもよい』とは云わないであろう。しかし赤色と桃色とでは似ているので、どちらでもよいと云う人が案外多いのではないかと思う。少し意味が異なるが我が組合の事業の討議事項に関して、右か左か、はっきりと意見を述べない人があまりに多いのではないかと日頃痛感している。

どうでもよい、役員会に任せておけ主義で、事後に蔭で批判を試みる等は、問題の解決には役立たない。良いにつけ悪しにつけ、個々の意見ははつきりと出して、話し合いの中でよりよいものを引出して、我々組合員のためになる事柄は早急に決めるべきである。

支部制も二年を過ぎて、そろそろ軌道にのつたものと思われるが、支部会議は小グループの話し合いの場であるだけに、支部員全員が出席して意見の交換を充分にやるべきである。

支部会議の結果が、ひいては組合運営の基盤であることは今更述べるまでもなく、組合員諸兄の承知のことであろうが、であるならば支部会議に、組合員の代理者が出席することは如何なるものであろうか。代理人では組合員個々の本当の意見が発表されず結論は持ち越し、と云う場合が非常に多いのではないかろうか。支部会議 자체で何か決をとりたい場合でも、代理人はその場での決定が出来ない場合が多い様におもう。

我々の生活の基盤である組合の团结の話し合いの場である事を心にとめてもらいたいものである。

昨年来の不況の風は我々に容赦なく襲って来ているが、この嵐で吹飛ばされぬ様に、横の連絡を密にして一社の落後者も出さない様团结して我が商売を守りたいものである。

おかげ八日

採決

建設業法施行令の一部改正

10月施行

電気工事業は一件150万円に

建設業法施行令の一部が改正され十月一日より施行された。

主な改正点は、建設業の許可を必要としない軽微な建築工事

(第一条の二)

建築一式工事(延べ面積一五〇平方メートル未満の木

造住宅工事を除く)は三百万円未満を四百五十

万円に。

②建築一式工事以外のものは、百万円未満を百五

十万円未満に引き上げた。

二、保証人を必要としない軽微な工事(第七条)

①一百万円未満を百五十万円未満に。

三、専任の主任技術者又は監理技術者を必要とする

工事(第二十七条)

①電気工事、管工事、電気通信工事、さく井工事

は現行の百万円未満を百五十万円未満に。

②その他の建設工事は三百万円以上を四百五十万

円以上に。
これまで電気工事が一件につき百万円を超す場合、建設業者としての許可をとらなければならず電気工事法によるのみなし業者、届出業者との二重の規制を受けていた。

近年は資材の高騰や、電気設備の大型化、高度化により、一件あたりの電気工事高が百万円を超すことも多くなり、建設業法の許可業者が増えてきた。今回の改正では実績に合わせて許可を必要としない軽微な電気工事は、一件当たり百五十万円未満に格上げしたもので、これにより業界内の二重規制による繁雑さは若干緩和されることになった。

(全日電工連より転載)

十月二十日室蘭市で開催された全道技能競技大会電工の部に於いて、次の方が見事采冠を勝ち取り、十一月七日札幌で開催された全道職業訓練大会の席上で表彰されました。

壮年の部 優勝 吉浦幸悦(吉浦電機商会)
青年の部 二位 藤井 勉(平井電気商会)



平井行衛氏知事表彰を

受ける

十一月七日札幌共済ホールで行なわれた北海道職業訓練法人連合会及び北海道技能検定協会創立十周年記念式典において「事業内職業訓練関係功労者」として平井行衛氏が栄えある知事表彰を受けられた。

氏は昭和十三年から業界に入り昭和三十七年から平井電気商会を経営、訓練校開設以来指導員として後輩の指導に当り、現在は副校長として尽力されて居ります。

昭和49年度

電気工事士本試験
(筆記・技能)の結果

昭和49年度電気工事士試験実施概況

区分 受験地 年度	出願者 総数 (A)	筆記試験 免除者 (B)	筆記受験 予定者 (C)	欠席者 (D)	実受験者 (E)	筆記試験 合格率 (E)/(D)	技能受験 予定者 (F)	欠席者 (G)	実受験者 (H)	合格者 (I)	合 格 率	
											技能実受験者 に対する率 H/G	出願総数に 対する率 (I)/(A)
札 峴	48	1,501	260	1.24	79	1,162	376	32.4%	636	26	610	58.2%
	49	1,618	380	11.28	100	1,138	602	52.9	983	56	927	73.6
函 館	48	232	32	201	11	190	48	25.3	80	—	80	43.8
	49	241	47	194	18	176	99	56.3	148	10	138	90
室 蘭	48	311	70	241	21	220	49	22.3	119	6	113	45
	49	403	70	333	20	313	122	39.0	192	4	188	105
旭 川	48	483	119	374	30	344	94	27.3	220	12	208	112
	49	615	140	475	41	434	193	44.5	424	17	407	296
釧 路	48	208	45	163	19	144	29	20.1	80	7	73	37
	49	395	72	323	35	288	126	43.8	206	13	193	139
北 見	48	119	—	119	5	114	23	20.2	—	—	—	—
	49	220	—	220	11	209	102	48.8	—	—	—	—
計	48	2,855	516	2,339	165	2,174	619	28.5	1,135	51	1,084	584
	49	3,492	709	2,783	225	2,558	1,244	48.6	1,953	100	1,853	1313
												70.9
												37.6

昭和四十九年五月十九日(筆記)、六月二十三日(技能)行なわれた、電気工事士本試験の結果が、次表の通り発表されました。

全道技能競技大会について

平井行衛

男性よK E T U をむけろ

五木源大

◆組合員の皆様、新年おめでとうございます。注つ二年、その前の年、『戦後第一

昭和四十九年度の全北海道電気工事技能競技大会は去る十月二十日室蘭市に於いて行なわれました。

催し、道及び関係市が積極的に後援し、又北電、市会議所、電機メーカー、卸商社、報道機関が惜しみない

協賛の下に盛大に行なわれたものであります。当組合も右の趣旨に添つて毎年積極的に参加し、極めて好成績を収め、業界の発展、技能者の福祉等に

大きな貢献を果し得たことは御同慶にたえません。競技実施に当つては当組合大倉理事長が実行委員に、

森谷勇一氏と私が競技委員となつて参画いたしました。今回の参加地区は、地元蘭をはじめ苦小牧、浦河町、伊達、札幌、函館そして遠くは北見旭川からも参加し

出場人員は青年の部二四名壮年の部七名計三一名で当組合からは、壮年の部に吉浦幸悦氏（吉浦電機商会）

青年の部に大島均君（ニタ力電機商会）、藤井勉君（平井電気商会）の三人が参加し技を競った結果、上手の部一立吉甫幸児氏

大島君は残念乍ら入賞を逸しました。

壯年の部

なお、本大会に先がけて、函館地区予選を行い、前

記三名の代表を選出したのですが、大会にのぞんで訓練校指導のベテラン、熊谷浩四郎、吉岡成彰、菲沢武光、岸部博各氏の競技に対する熱い意気込みがよく伝わる。

指導を行ないました。代表選手となつた三人は、元より技能優秀ではあります、前記訓練校指導員の貴重な経験を参考とした助言が、入賞に導いたものと云えるのではないかと思います。

又かゝる全道的な規模で競技を行なうに当つて、早くから計画、準備、そして実施と、大任を果された室蘭地区的組合及び関係担当者の御努力、御尽力について茲に更めて心より深くお礼を申し上げます。

私が東南アジア方面へ研究旅行をした際、オシャカ様がオネンネした像を再三みたが、これまた大きなもので、奈良の大仏様が足を伸ばして寝てくらいいのものが、全部右をにして寝ているのだ。このオシャカ様の寝姿に対する心遣い。そしてこれに着眼した私の非凡さ。

諸君! 悪いことは云わない。終つたら尻をむけろ、何と云われようと尻をむけろ。それのみが君を長生きさせる唯一つの道なのだ。御健斗を切に祈る。
尚私のこの研究は本年度ノベル賞にノミネートされることは絶対確実ではないかと信じていることをつけ加える。

◆この数年世相の変転が目まぐるしく、所謂価値の転換が激しい時代といわれますが、果して人間の持つ価値觀は簡単にくるくる變って良いものでしようか。「大きいことは良いことだ」が「大きいばかりが能でない」となり「消費は美德なり」が「節約は美德」と転じ、その度毎に一億総右列えの感を呈します。石油バニツクはつられたパニツクといわれます。吾々はマスコミの情報に悪乗りして、一喜一憂することは止め、個性に根ざした自らの生み出した信念と、物事の本質をみつめる努力とで激動の世を生きることが大事と思います。

◆いなづまは組合員の為の、組合員の手に依る、組合員の気持交流の場です。

いなづま、組合に対する注文や批判或は隨筆その他なんでも結構ですが、左記編集員又は事務局宛投稿郵送下さい。無記名也可。どしどし投稿お願いします。

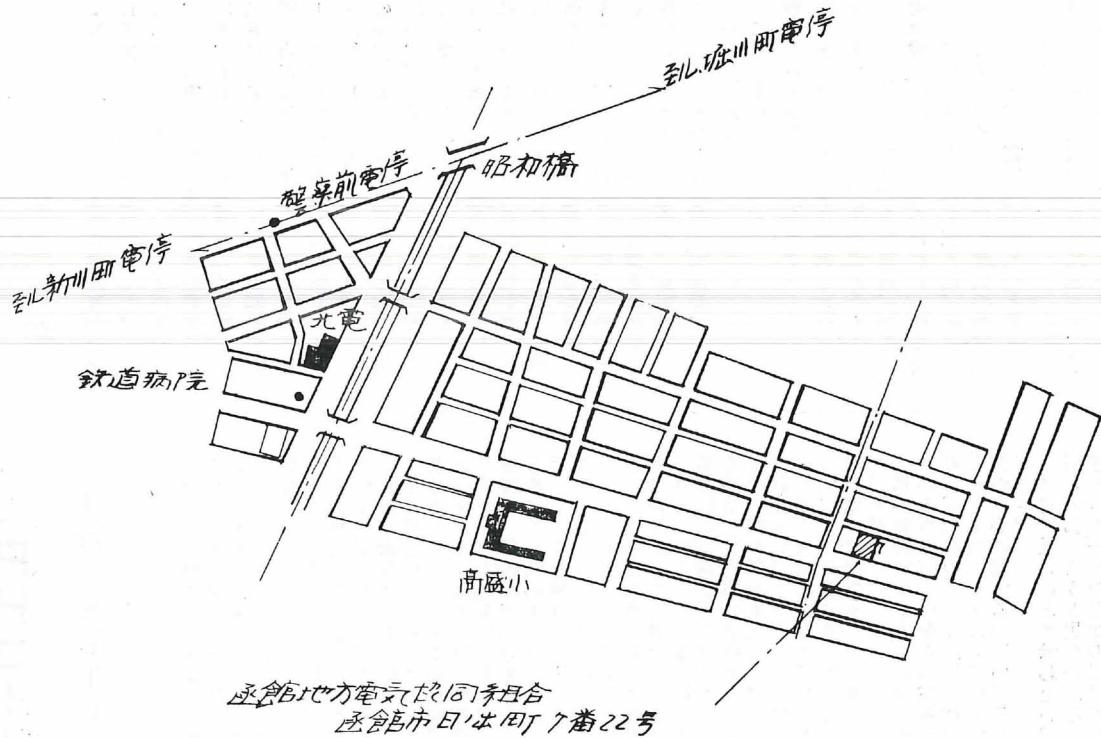
◆『変動の歳での繁忙期にかゝって丁度で』と云う言訳で当になづま十一月発行分はこの新年号と合併と云うことになり、内容が時間的にズレてしまった記事号を送り出すことが出来て感慨一入のものがあります

住った年も、その前の年も、「戦後最大の激動の昭和〇〇年」と激動に次ぐ激動の揚句が、繁榮の神話がもろくも潰いえて「株式会社G.N.P日本」どころか世界中が不景気の嵐に翻弄されつゝある新年を迎える、この昭和五十年が我々にとって、どういう身の処し方をしたらよいものか、免に角これ以上悪くならぬいで済し」と祈るのです。

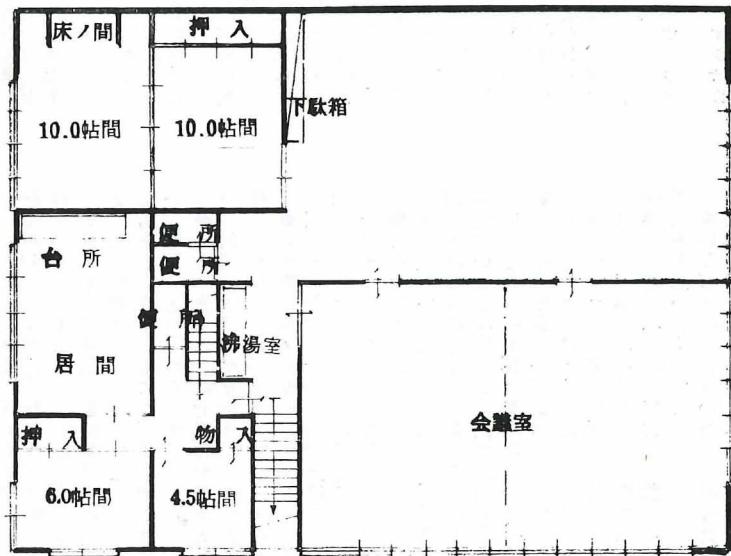


かねて懸案の組合会館、建設について、建設委員会において、種々検討の結果、旧「道食」を買収、去る11月21日所有権の移転登記を終了、改築工事については、12月27日、鈴坂本建設と契約、竣工予定は3月中旬です。

尚 改築工事に際しての設計及監理は株匠建築設計事務所に依頼した。

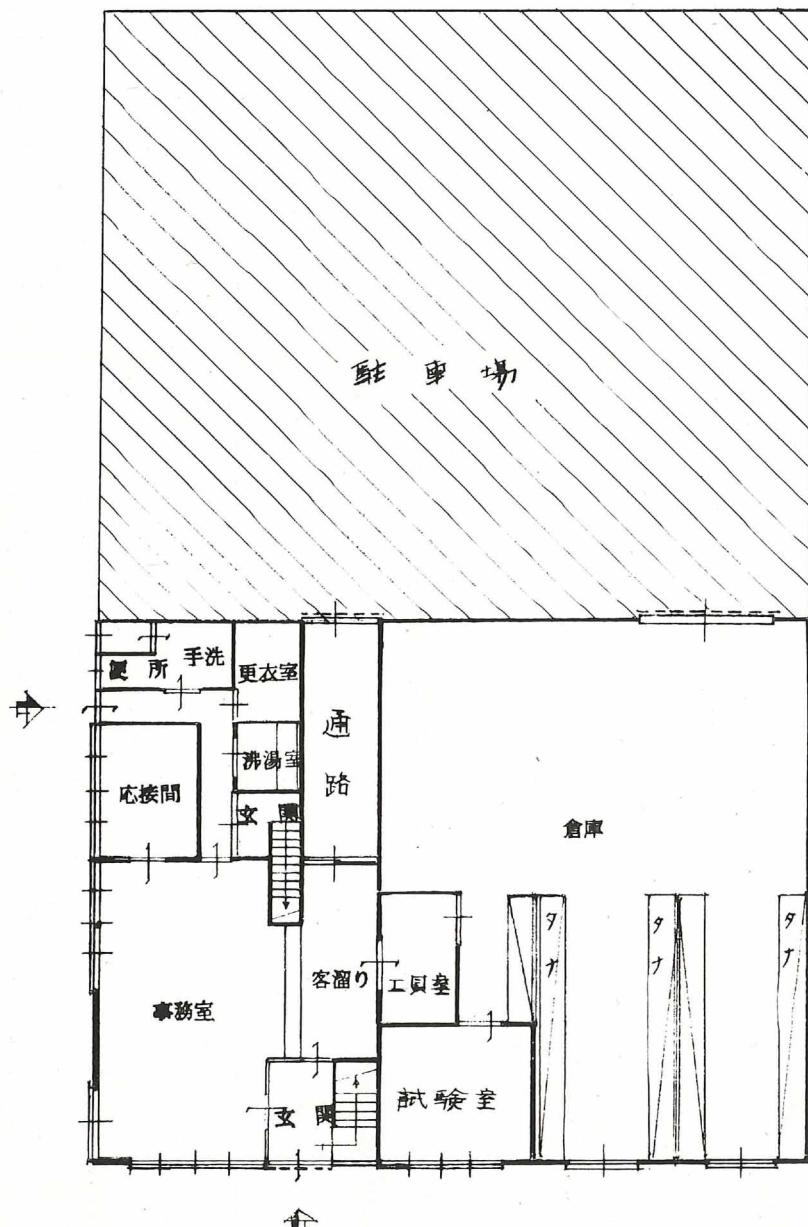


附近見取図 SCALE 1 : 10.000



2 階平面図

組合会館改築平面図



正 賀

あかるい明日を技術でひらく

全道随一の照明設備センター
電設機器資材の総合電機卸

明日をひらく
電設資材の総合卸商社

東芝電材株式会社

函館営業所

040 函館市大繩町二十二番十四号
電話 函館 (41) 一二四一

新しい住まいづくり

松下电工株式会社 函館営業所

函館市昭和町三九六の一
電話 函館 (42) 五八二一

工事材料・電化製品

丸晃電気株式会社

函館市西桔梗町五八九一四九
電話 (49) 一三一三

函館出張所

株式会社エミヤ商会

本社 函館市千才町五の十
照明 電話 (代) (2) 六二一一
出張所 札幌 八雲 (代) (2) 七一四八八

綜合卸商

隆東電機株式会社

函館市西桔梗町五八九一〇八
電話 (49) 六二二六

電設資材・機電総合卸

進和電機株式会社

040 函館市松川町三四一一三
電話 (42) 六二三一

函館市豊川町七番二八号
本社・札幌支社・東京営業所・釧路
出張所・苦小牧

石垣電材株式会社 函館出張所

本社 (2) 札幌市中央区北六条西二丁目一番地
本店 (2) 苦小牧市木広町七番地
出張所 (2) 函館市八幡町二〇番一三八号
TEL (2) (3) 四一一三八三八三

電気工事材料

電設資材総合卸商社
株式会社 佐久間電気商会

取締役社長 佐久間正明

函館支店 函館市昭和町一〇四の四
本社 札幌市白石区菊水南町三丁目一五九
TEL (2) (3) 一二三二 (大代表)
室蘭 苦小牧 鈴鹿 帯広 小樽